

移動が変わる、インテリアの力

新しい電車習慣の予感

天井と座席のファブリック

コンセプト、
新しい電車習慣の予感

天井と座席の
ファブリックは、
自然のうつろいや電車の揺れを
可視化し、優雅にゆらめき魅せる。

それを眺める乗客は癒され、
電車の時間を、
自分と向き合う時間とする。

こうして生まれた考えやひらめきは、
乗客の一日を豊かにするのである。

これは、
新しい電車空間の過ごし方であり、
インテリアファブリックが生み出す新たな習慣を予感させる。

朝の電車で決めたこと、
さっそく実行してみよう



行きの電車で一日の目標を決めて、
帰りの電車で振り返ろう

問題提起、
電車とは
単なる移動手段？

電車は移動しているはずなのに、一方、車内は固まったままで動きがない。単調でおもしろみがない、電車を利用する人々はスマホばかりで顔は下向き、ただ、じっと、到着を待つだけなのである。

電車時間を、
なんとなくで過ごしてはならない。電車内とは意外と、一られる貴重な時間。車を眺めてふと物思いにふける。電車は単なる移動手段と向き合うことのできることに気づくのである。

気づき、
電車時間は
自分と向き合う

気がつき、
電車時間は
自分と向き合う

心が動かされる
天井がゆらめく
椅子に揺られる
風が抜ける
電車がゆれる
いつものある
行為から

01 02 03 04 05





「朝の電車で一日の目標を決めよう」
 「昨日の悩み事は電車時間で解決しよう」
 「電車を降りたらもう、悩むのはやめよう」
 「今日の朝飯はチャートンにしよう！」
 電車は単なる移動手段ではなく、自分
 と向き合う恰好の時間となるのである。

心地のよい座席に包まれ、天井フアブリックのゆらめきを眺める...
 そうしていると、自然と心が癒され、刺激され、心が動かされる。

そうして起こるゆれが、天井フアブリックや座席に伝わり、車内の表情を様々に変化させる。

扉が開けば、外と繋がり風が抜ける、人が通れば、風が起る、発進停止、カーブにより車体が揺れる、

駅に着き、扉が開き、人が出入りし、通路を行き来し、扉が閉じられ、また、発車してゆく...
 このようないつも通りの電車行為がきっかけとなり

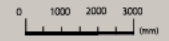
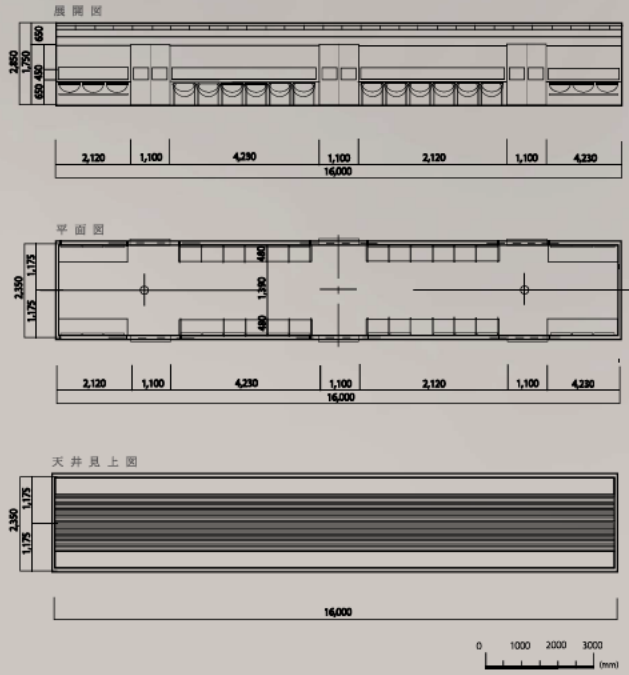
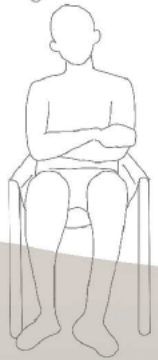
合う恰好の時間

してはいないか？

車窓の景色や乗客

手段ではなく、自分

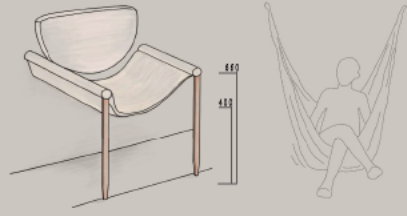
である。



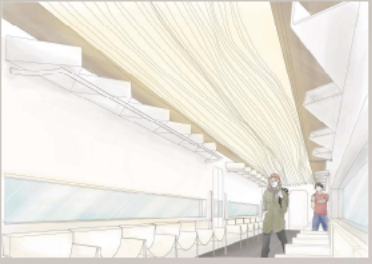
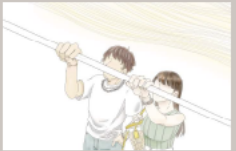
心地の良い座面で、天井を眺める

ハンゼッタの心地よさを、座席デザインに落とし込んだ。そうすることで、想像できない電車の揺れは、心地よい揺れへと変化する。また、深くゆったりと暖かくなることで、いつもはトを向いている顔も上を向き、自然と視線を天井フアブリックへと誘導する。

ゆらめく天井を眺める際、椅子も短よくゆれることで、車内に、心地の良い一体感が生まれる。



主張と消去
主体となる天井を
目立たせる工夫



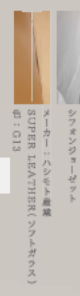
1. 天井パネル、天井パネルと天井フアブリックの高低差や色の明度差を利用することで、天井パネルを消去した。手すりなどの電車における機能の要素は、全て、天井パネルの重し、視界を助けとなる荷物を見えなくすることで、邪魔も消去した。

2. 手すりつり革ではなく一本のパールを使用し、つり革の揺れを無く。パールリックと区別化した。そうすることで、天井フアブリックと同方向に伸ばしたことで、主体の天井を主張した。

素材のこだわり

天井フアブリック・シフォンジョーゼット
 自然風や人の動き、電車の揺れなどの繊細な表情をフアブリックで可視化させるため、ポリ100%のシフォンジョーゼットを使用。適度に透ける布同士重なることで表情変化を楽しむことができる。

座席フアブリック・ソフトガラス
 丈夫で強さについては革の王者とされる牛革を使用。表をウレタン樹脂で加工したため傷も目立ちにくく、電車座席において、乗客の身体を支えに支持しながらも柔らかく包み、電車の揺れを繊細に伝える。



天井フアブリック

ポップハンガーの原理を応用したクリップで天井フアブリックを挟み吊るす。このハンガーは、天井に設置した付属のブラケットへと簡単に取り付けることができる。

構造と照明計画

ポップハンガー側面には、LEDテープライトを沿わせ設置する。光源を見せないコープ照明とすることで、天井フアブリックを柔らかく照らし、癒され性を演出する。

また、ゆらめく天井フアブリックの表情の邪魔をしないよう、ハンガーやテープライトは幅を1センチに収めて計画した。

